

令和4年度

財政援助団体等監査報告書

富津市監査委員

目 次

第1 監査の概要

1 監査の種類	1
2 監査の対象	1
3 監査の範囲	1
4 監査の方法	1
5 監査の期間	2
6 監査の場所	2
7 監査の執行者	2

第2 監査の結果

1 事務事業の概要	3
2 事業	3
3 役員及び組織	3
4 財政援助等の受入状況	4
5 収支決算の状況	4
6 監査の結果について	5

第1 監査の概要

1 監査の種類

地方自治法第199条第7項の規定に基づく財政援助団体等監査（出資団体監査及び公の施設の指定管理者監査）

2 監査の対象

[対象団体] 公益財団法人 富津市施設利用振興公社
（富津市施設利用振興公社・ミズノ共同体）

[所管課] 建設経済部 都市政策課
教育部 生涯学習課

3 監査の範囲

令和3年度及び令和4年度8月末現在までの財政的援助等に係る出納、その他の事務の執行

4 監査の方法

本市からの出資及び公の施設の管理を行わせている団体の出納その他の事務の執行が、財政援助団体等の目的に沿って適正かつ効果的に行われているかを主眼として、富津市監査基準に準拠し、団体の種別により以下の観点に基づくほか、提出された監査資料及び関係諸帳簿の調査、確認をするとともに、当該団体職員及び所管課職員から説明を聴取し、併せて現地確認を行った。

(1) 出資団体及び公の施設の指定管理者

- ア 管理業務が設立目的（出資目的）に沿って適正に行われているか。
- イ 決算諸表等は、法令等に準拠して作成されているか。
- ウ 会計経理及び財産管理は、適切に行われているか。
- エ 資金の運用は、適切に行われているか。また、経費節減は、図られているか。
- オ 施設は、関係法令の定めるところにより適切に管理されているか。

カ 基本協定等に基づく義務の履行は適切に行われているか。

キ 公の施設の管理に係る会計経理及び財産管理は適切に行われているか。

(2) 所管課

ア 基本協定等に規定する事項は適正に行われているか。

イ 管理に関する経費の算定、支出の方法、時期、手続等は適正になされているか。

ウ 事業報告書の点検は、適切に行われているか。

エ 指定管理者に対して適時かつ適切に業務又は経理の状況に関し報告を求め、調査し、又は指示を行っているか。

5 監査の期間

令和4年9月14日から令和4年11月25日まで（事前監査等の期間を含む。）

6 監査の場所

市民ふれあい公園管理事務所 会議室

7 監査の執行者

富津市監査委員 磯 貝 昭 一

富津市監査委員 平 野 明 彦

第2 監査の結果

公益財団法人 富津市施設利用振興公社

1 事務事業の概要

公益財団法人富津市施設利用振興公社（以下「公社」という。）は、住民のスポーツの振興に関する各種の事業を行うとともに、公園緑地等及びスポーツ・レクリエーション施設並びにその他の施設の管理運営を行い、もって住民福祉の増進と良好な生活環境づくりに寄与することを目的とする団体である。

富津市は、公社に対して設立時に基本財産4,000万円を全額出資している。

公社は、平成元年度に設立（平成25年4月に財団法人から公益財団法人に移行）して以来、34年間にわたり公共施設の維持管理及び運営を実施し、市のまちづくり、市民の健康増進活動に寄与している。

また、公社は、令和元年度から富津市の公の施設の指定管理について、各施設の利用率の向上を図るべく、体育施設の管理運営事業において、経験豊富なミズノスポーツサービス株式会社と共同体を組み、公益財団法人としての公益性、継続性と、民間企業としてのネットワーク、経験、ノウハウ等を融合した施設の管理運営体制を整備され、事業運営を行っている。

2 事業（定款第4条抜粋）

- (1) 地域住民のスポーツの振興に関する事業
- (2) 緑化の推進に関する事業
- (3) 富津市その他の公共団体の設置した公共施設の管理受託
- (4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

3 役員及び組織（令和4年9月30日現在）

- (1) 役員 5名
 - 理事長 1名
 - 理事 3名
 - 監事 1名
- (2) 評議員 9名
- (3) 事務局 22名（常勤職員7名、臨時職員15名）

4 財政援助等の受入状況（令和3年度決算）

(1) 富津市都市公園及び富津市立公園管理事業収入	144,700,000円
(2) 富津市体育施設管理事業収入	48,961,024円
(3) 売津パーク等管理事業収入	475,000円
(4) 青木地区公園予定地管理事業収入	300,000円

5 収支決算の状況（令和3年度決算）

公益財団法人富津市施設利用振興公社から提出された、令和3年度決算書について、その概要は次のとおりである。

令和3年度 正味財産増減計算書

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
一般正味財産増減の部			
経常増減の部（当期経常増減額）	566,817	3,437,096	△ 2,870,279
経常収益	231,865,619	227,345,828	4,519,791
基本財産運用益	861	4,008	△ 3,147
事業収益	231,835,071	227,314,715	4,520,356
雑収益	29,687	27,105	2,582
経常費用	231,298,802	223,908,732	7,390,070
事業費	229,721,092	222,440,492	7,280,600
管理費	1,577,710	1,468,240	109,470
経常外増減の部（当期経常外増減額）	0	0	0
経常外収益	0	0	0
経常外費用	0	0	0
税引前当期経常増減額	566,817	3,437,096	△ 2,870,279
法人税等支出	118,800	110,800	8,000
当期一般正味財産増減額	448,017	3,326,296	△ 2,878,279
一般正味財産期首残高	14,248,622	10,922,326	3,326,296
一般正味財産期末残高	14,696,639	14,248,622	448,017

経常収益の主なものは、事業収益で、富津市からの指定管理料である富津市都市公園及び富津市立公園管理事業収入1億4,470万円（事業収益の62.42%）、富津市体育施設管理事業収入4,896万1,024円（事業収益の21.12%）である。

経常費用の主なものは、事業費で、職員、非常勤職員等の人件費等6,618万7,235円（事業費の28.81%）、光熱水費2,320万1,849円（事業費の10.10%）、委託費1億191万5,707円（事業費の44.36%）である。

令和3年度 貸借対照表

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	30,835,672	流動負債	23,012,573
現金預金	28,186,260	預り金	613,889
未収金	2,649,412	未払金	19,229,684
		賞与引当金	3,169,000
固定資産	46,873,540	固定負債	0
基本財産	40,000,000		
特定資産	6,843,540	負債合計	23,012,573
その他の固定資産	30,000	(正味財産の部)	
		指定正味財産	40,000,000
		一般正味財産	14,696,639
		正味財産合計	54,696,639
資産合計	77,709,212	負債及び正味財産合計	77,709,212

6 監査の結果について

公の施設の指定管理に係る出納その他の事務は、おおむね適正に処理されているものと認められた。

しかしながら、基本協定書等に定められている事項の不履行及び書類等の不備が一部見受けられたため、事務に漏れがないよう、改善に努められたい。

なお、所管課においても、適宜、事務の執行状況を確認するとともに、必要な指導を行われたい。

また、総合社会体育館は老朽化等が進んでおり、施設の適切な管理運営が図られるよう、所管課においては、公益財団法人富津市施設利用振興公社との連携体制を強化し、修繕計画を策定することを検討されたい。

長引く新型コロナウイルス感染症及び原油価格・物価高騰の影響により事務の遂行に苦慮していると推察されるが、今後も、ミズノスポーツサービス株式会社の経験やノウハウを活用し、施設サービスの拡充、スポーツ振興の積極的な推進を図り、事業内容を充実させるなど、更なる事業展開を望むものである。